

ハイタカ

Accipiter nisus nisosimilis
(Tickell)

タカ目
FALCONIFORMES
タカ科
Accipitridae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 準

選定理由 近年、全国的に個体数が減少していると言われている。大分県内でも越冬個体数が減少している。

県内分布 平地部から山地の林や農耕地に飛来する冬鳥。

分布域 北海道、本州中部以北の平地から亜高山帯の林で繁殖。全国の森林や平地部の林で冬鳥。
朝鮮半島、中国東北部、シベリアで繁殖。中国中部以南で越冬。

生息環境 丘陵から亜高山の森林の樹上で繁殖する。おもに森林内で、小・中型の鳥類を捕食する。

現 状 タカの仲間では個体数が多い種であるが、近年、観察頻度が少なくなっている。

備 考 ワシントン条約附属書Ⅱ

ツミ

Accipiter gularis gularis
(Temminck & Schlegel)

タカ目
FALCONIFORMES
タカ科
Accipitridae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 種の総個体数が少なく、森林開発などにより生息環境が悪化している。県内での繁殖期の記録は少なく、冬の観察頻度も減少している。

県内分布 平地から山地の林に希にみられる留鳥。

分布域 亜種ツミは北海道、本州、四国、九州の平地から亜高山の森林地帯に留鳥。奄美諸島以南では冬鳥。南西諸島では別亜種リュウキュウツミ (*A.g. iwasakii*) が留鳥。
朝鮮半島、中国東北部で繁殖。中国南部、東南アジアで越冬。

生息環境 平地から亜高山の森林に生息し、小型の鳥類やネズミ、トカゲ昆虫などの小動物を捕食する。

現 状 繁殖期の個体数は数十羽程度と推定される。

備 考 ワシントン条約附属書Ⅱ

サシバ

Butastur indicus (Gmelin)

タカ目
FALCONIFORMES
タカ科
Accipitridae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 繁殖場所である里山の平地林が減少している。餌となる爬虫類、両生類が減少している。県内での繁殖個体数が減少している。

県内分布 全域の平地から山地の林に生息する夏鳥。

分布域 本州、四国、九州で夏鳥。奄美諸島以南では冬鳥。
朝鮮半島、中国東北部で繁殖。中国南部以南の東南アジアで越冬。

生息環境 低山や丘陵の林で繁殖する。水田や草地で、小型爬虫類、両生類、昆虫類を捕食する。

現 状 かつては里山に普通に生息していた種であるが、最近では観察頻度が減っている。春秋には、四国と鶴見半島や佐賀関の間を数千羽が渡る。

備 考 ワシントン条約附属書Ⅱ